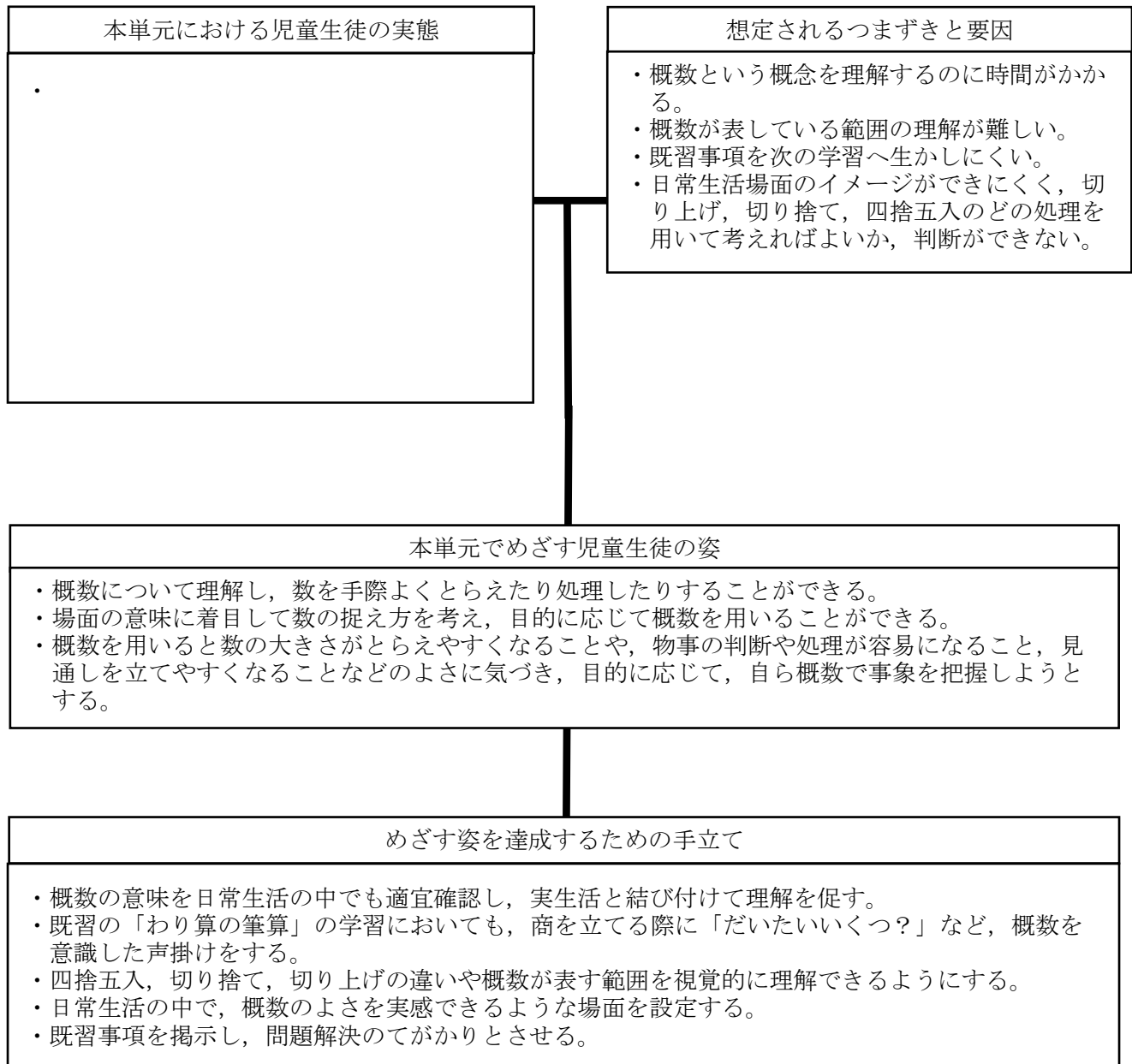


第4学年 算数科学習指導案
単元名：およその数の使い方と表し方を調べよう

三次市立川西小学校 授業者 ○○ ○○

- 1 日時 令和5年月10日12（木） 第6校時(14:20～15:05)
- 2 場所 3・4年教室
- 3 学年 第4学年（男子2名，女子2名 計4名）



4 単元の目標

- 概数の用いられる目的や四則計算の結果の見積りの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。(知識・技能)
- 日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。(思考・判断・表現)
- 日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえることを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

「概数」を学ぶ良さとは、何だろう。

② 単元を貫く問い (単元を通して考え深めていく「問い」)

概数の表し方にはどんなものがあるのだろう。

③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)

- ・「概数」って何？
- ・四捨五入の意味とその方法は？
- ・切り捨て、切り上げの意味と、四捨五入を含めた使い分けは？
- ・「概数」を使った計算の仕方はどうするの？
- ・目的に応じた概数を用いた計算の仕方とは？

単元計画の 構想を立てる

- 1 正確な細かい数を概数で表すことを通して、概数の意味について理解する。
- 2 四捨五入の意味とその方法を理解する。
- 3 「四捨五入して○の位までの概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。
- 4 「四捨五入して上から○桁の概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。
- 5 四捨五入して概数にする前の、もとの数の範囲や、「以上」「未満」「以下」の意味を理解する。
- 6 「切り捨て」「切り上げ」の意味とその方法を理解し、概数の理解を深める。
- 7 概数を用いて、目的に応じ、和や差の見積りの仕方を説明することができる。(本時)
- 8 概数を用いて積や商の見積もりができる。
- 9 学習内容の定着を確認し、理解を確実にするとともに、日常生活とのつながりに気づ

5 本時の展開

(1) 本時の目標

概数を用いて、目的に応じ、和や差の見積もりの仕方を説明することができる。(思考・判断・表現)

(2) 本時の評価規準

- ・ 前時までの概数で表す方法に着目して、概数を用いる目的に応じて適切に処理する方法を考え、説明している。(観察・ノート)

A	概数を用いて、目的に応じ、和や差の見積もりの仕方を理由も併せて説明することができる。
B	概数を用いて、目的に応じ、和や差の見積もりの仕方を説明することができる。
C	Bに到達していない。

(3) 準備物

- ・ 拡大した場面図、短冊、実数とそれぞれの概数の大小関係を視覚的にとらえられる教材

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1. 既習事項の復習	○四捨五入, 切り上げ, 切り捨てと, 実数の関係を復習する。	・前時までの概数で表す方法に着目して, 概数を用いる目的に応じて適切に処理する方法を考え, 説明している。 (観察・ノート)
2. 場面を捉える。	○場面絵を拡大したものを黒板にはり, 買い物をしている場面と3人の言葉にもふれる。	
3. 問題を読み, 題意を捉える。	○見当をつけることを見積もるということを押さえる。	
4. 本時のねらいを捉える。	○めあてを確認する。	
目的に合った見積もりの仕方をアドバイスしよう。		
5. 3人の見積もりの仕方を比べる。	○3人それぞれの言葉と買いたいもの, 計算をしたものを掲示し, 計算の仕方を比べる。	
6. 見積もりの目的や方法を考える。	○3人はなぜこのような見積もりの仕方をしたのか, みさきさんの言葉の続きを考えさせる。 ○3人の見積もりの目的を, 言葉から考えさせる。 ○目的別に, 見積もりの仕方を分類できる表を板書し, 目的に応じた見積もりの仕方の共通点を見つけやすくする。 ○四捨五入, 切り上げ, 切り捨てを理解しやすいように棒グラフで表したものを	

	用意し，視覚的に理解しやすくする。	
7. 和を見積もる方法をまとめる。	○話し合いながら，まとめる。	
・「はな」「だいたい」を知りたい⇒（近い数字で見積もる）四捨五入がよい。 ・「兄さん」「たりるか」を知りたい⇒（多めに見積もる）切り上げがよい。 ・「お母さん」「こえるか」を知りたい⇒（少なめに見積もる）切り捨てがよい。		
8. 練習問題をする。	○評価問題に取り組む。	
9. 振り返る。	○わかったこと，よくわからなかったこと，もっと学習したいことなど，学習の振り返りをする。	

評価問題

けいたさんは、東京から遊びに来た、いとこのさとしさんの家族と一緒に、Aスタジアムに野球の試合を
みに行くことになりました。 次の問題に答えましょう。

○けいたさんは、さとしさんと一緒にお土産を選ぶことにしました。
けいたさんは、1430円の筆箱、2620円のタオル、760円のストラップを 1つずつ買おうと思っ
ています。持っているお金の5000円で足りるかどうか心配 になったので、次のように考えました。

切り上げて、百の位までのおよその数にして計算すると次のようになります。

じっさい
実際の数

1430 2620 760

↓ ↓ ↓

およその数の計算

1500 + 2700 + 800 = 5000

実際の数より（①）にして和が5000だから、5000円で（②）ことが分かります。

①と②に入るふさわしい言葉の組み合わせを、次のア～エの中から1つ選び、その 記号を の中に
書きましょう。

- ア ①小さい数 ②足りる
- イ ①小さい数 ②足りない
- ウ ①大きい数 ②足りる
- エ ①大きい数 ②足りない

(平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査算数「10－(1)」

解答類型	正答
正しい記号を選んでいる	◎
上記以外の回答	○
無答	×